

環境報告書 2025



東京二十三区清掃一部事務組合
中央清掃工場

私たちの取組

中央清掃工場の環境方針

基本理念

気候変動や温暖化などの環境問題が世界規模で深刻化しているなかで、良好な地球環境を維持するには、持続可能な開発目標(SDGs)や地球温暖化対策に取り組みながら、循環型社会の形成に向けて、積極的に行動していかなければなりません。

私たちは、工場内の設備を適切に維持管理することで、確実な廃棄物の中間処理やエネルギーの安定的供給を行い、「区民の信頼に応える安全で安定した清掃工場等の効率的運営」に向けて取り組みます。更には、緑豊かで環境負荷のより少ない清掃工場を目指し、地域の皆様に愛される工場となるよう、次の方針に基づき、日々努めてまいります。

基本方針

- 1 燃焼管理と設備の維持管理を適正に実施できる人材を育成し、環境負荷の低減に努めます。
- 2 公害防止に係る法令の基準値及び自己規制値を遵守します。
- 3 環境目的、環境目標を設定して実行するとともに、定期的に見直しを行うことで継続的な改善及び汚染の予防に努めます。
- 4 ごみ焼却に伴い発生する熱エネルギーの有効活用を図り、地域に貢献します。
- 5 省資源・省エネルギー対策を推進します。
- 6 ステップガーデンの開放や区民への啓発活動を通して環境情報を提供し、地域に開かれた清掃工場を目指します。
- 7 この環境方針については、工場で働く全ての人に周知するとともに、広く一般にも公開します。

中央清掃工場は平成13年7月にしゅん工し、今年度で25年目を迎えました。この間、地域の皆様のご理解とご協力のもと、安全で安定した工場の運営を続けることができました。

令和6年度も、中央区を中心に搬入された可燃ごみを適切に焼却処理するとともに、排ガスや排水中の有害物質を最大限取り除くため、法律より厳しい自己規制値を設け、環境負荷の低減を図ってきました。

また、焼却で発生する熱を有効利用し、隣接の区民施設に熱の供給を行うほか、発電をして工場内の電気を賄うとともに、余剰電力の売電も行いました。

このように、可燃ごみを焼却処理し、循環型社会形成へ向けた環境への取組を継続していくため、環境に関するマネジメントシステムの運用を行ってきました。

本報告書は、当工場の環境に関する取組内容をまとめたものです。ご一読いただき、私たちの日頃の取組をご理解いただければ幸いです。

東京二十三区清掃一部事務組合
中央清掃工場長

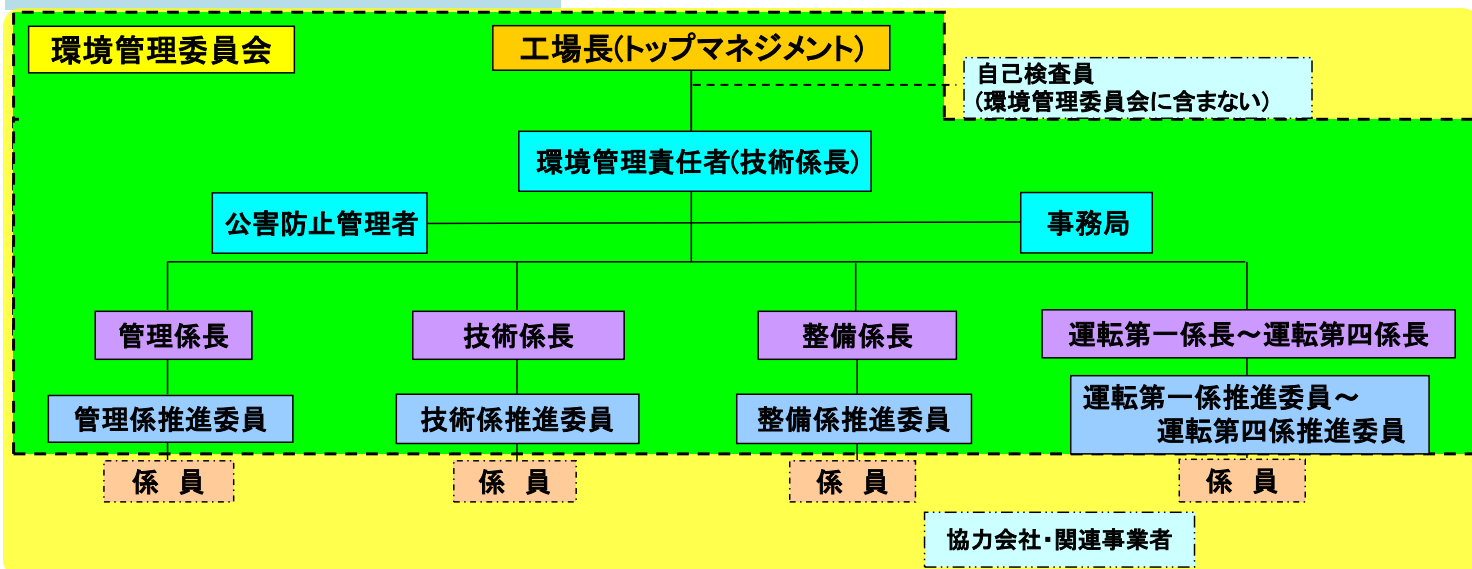
環境マネジメントシステムの運用について

環境マネジメントシステムとは、企業や自治体などの組織が、自らの活動に伴う環境への影響を自主的、継続的に改善していくための経営のしくみをいいます。東京二十三区清掃一部事務組合(以下「清掃一組」という。)が所管する中間処理施設では、平成11年度からISO14001※に基づく環境マネジメントシステムを計画的に導入、認証取得し、環境汚染物質の削減、省資源・省エネルギーに取り組んできました。

清掃一組の環境マネジメントシステムの導入から24年が経過し、組織に環境管理の考え方が定着したこと、また、これまで蓄積したノウハウを活用し、環境管理の効率化及び業務との連携強化を図るため、令和5年度にISO14001の認証を返上し、令和6年度以降は「いちくみ環境マネジメントシステム(いちくみEMS)」を運用しています。いちくみEMSでは清掃一組職員による自己検査を行い、環境管理が適切に行われていることを確認しています。

※ISO14001は、ISO(国際標準化機構)が定めた環境マネジメントシステムに関する国際規格です。

■ 中央清掃工場環境管理活動体制



環境対策について ～全ての項目について基準値をクリアしました～

■ 各種調査結果

排ガス

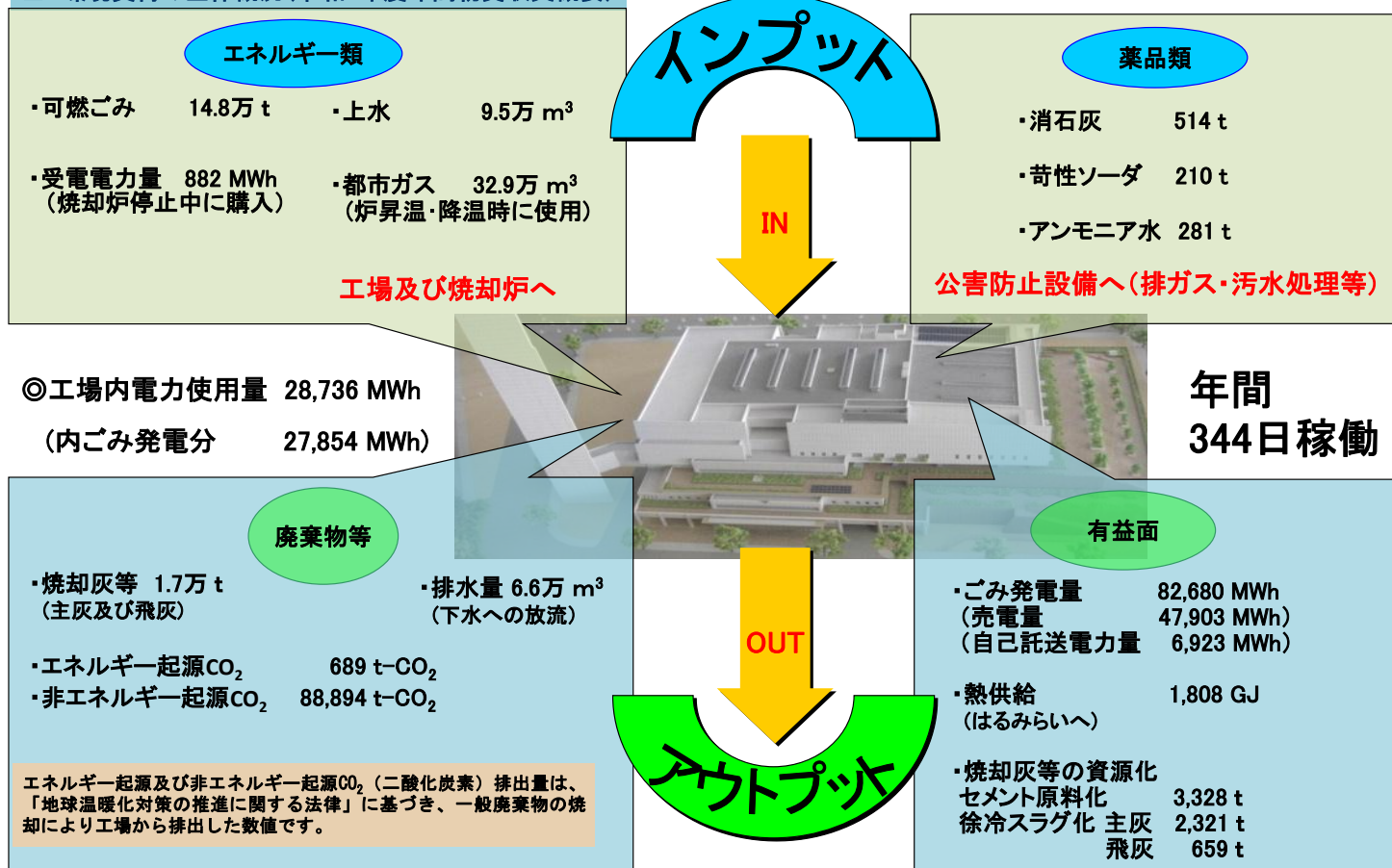
調査項目	単位	法基準値	自己規制値	調査結果(年間測定平均値)				
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ばいじん	g/m ³ N	0.04以下	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
窒素酸化物	ppm	250以下	50以下	36	36	37	36	37
硫黄酸化物	ppm	60以下	10以下	<1	<1	<1	<1	<1
塩化水素	ppm	430以下	10以下	<2	<2	<2	<2	<2
水銀	μg/m ³ N	50以下	なし	0.39	0.30	0.17	0.24	0.17

ダイオキシン類

調査項目	単位	法基準値	調査結果(年間測定平均値)				
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
排ガス	ng-TEQ/m ³ N	0.1	0.0000031	0.00000035	0.000000089	0.00000025	0.0000013
排水	pg-TEQ/L	10	0.00051	0.00057	0.00014	0.00011	0.000072
雨水排水	pg-TEQ/L	10	0.0011	0.018	0.020	0.79	0.030
焼却灰	ng-TEQ/g	3	0.0061	0.0070	0.015	0.0077	0.0098
飛灰処理汚泥	ng-TEQ/g	—	0.38	0.32	0.20	0.39	0.26
汚水処理汚泥	ng-TEQ/g	3	0.00017	0.0061	0.00072	0.00019	0.00018

※飛灰処理汚泥は、飛灰に法令で定める処理を行ったもので、法基準値が適用されません。飛灰はごみの焼却によって発生した灰のうち、排ガスと共に舞上がる灰を指します。

■ 環境負荷の全体概況(令和6年度年間物質収支概要)



化学物質排出量届出制度(PRTR)

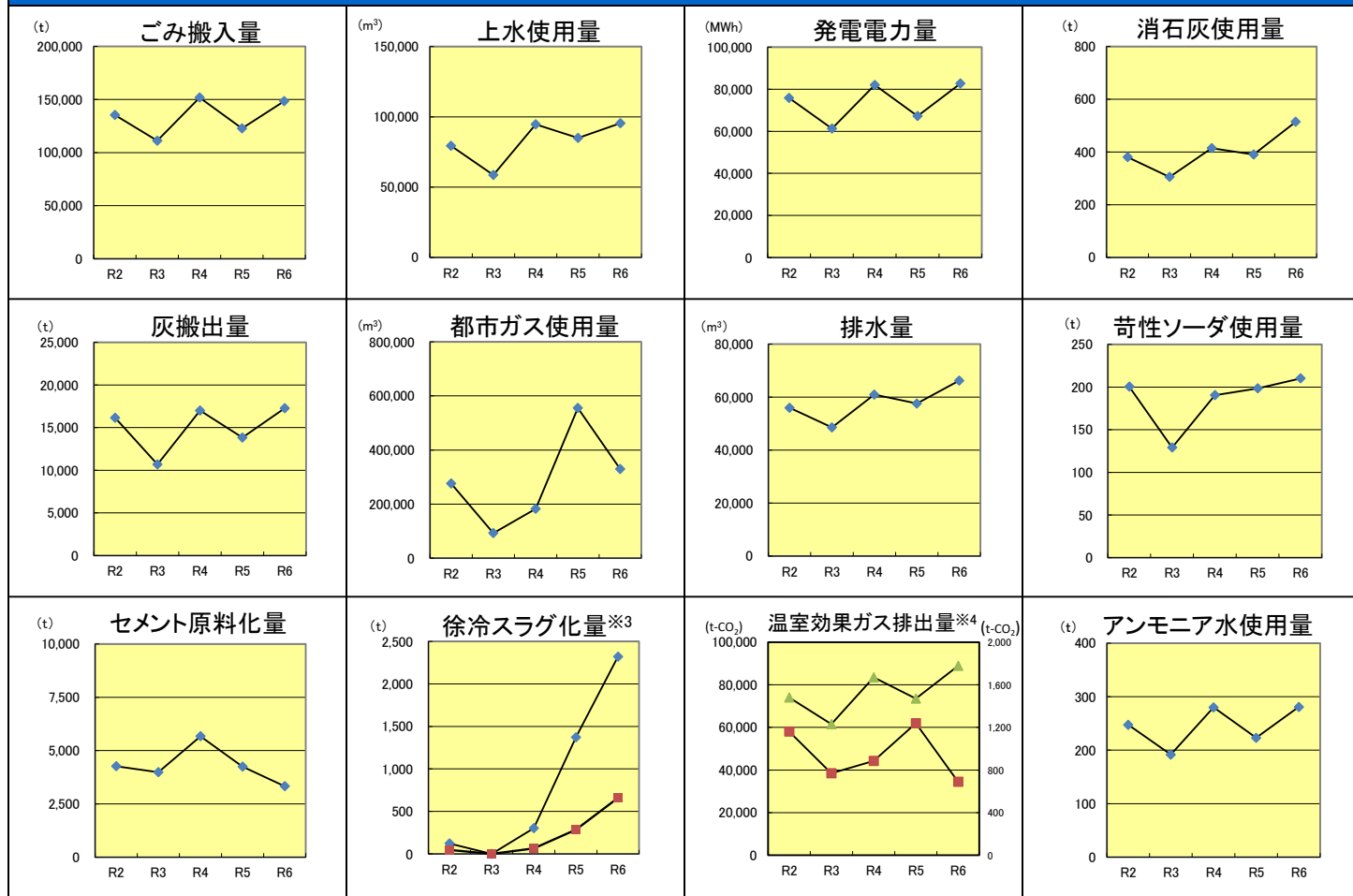
■ PRTRとは

人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質が、事業所から環境(大気、水、土壌)へ排出される量及び廃棄物に含まれて事業所外へ移動する量を、事業者が自ら把握し国に届け出をし、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計・公表する制度です。

	項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ダイオキシン類排出量(mg-TEQ/年)	大気への放出	0.0030	0.00030	0.00010	0.00023	0.0015
ダイオキシン類移動量(mg-TEQ/年)	廃棄物に含まれての移動※	1,200	890	800	1,100	990

※廃棄物に含まれての移動量: 当工場では、焼却灰等の合計がこれにあたり、焼却灰等の搬出量により相当量が増減します。

各種調査と資源・エネルギーの効率化への取組

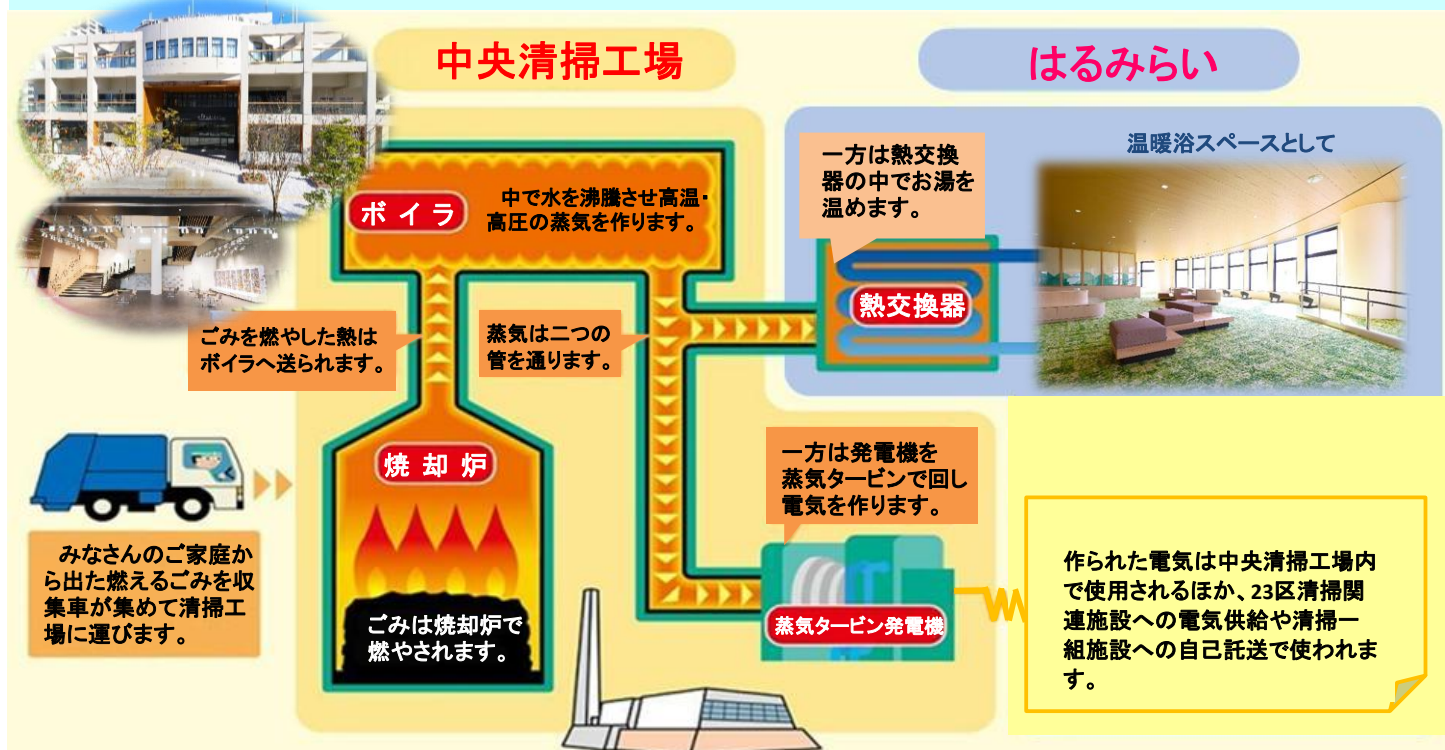


※1 各グラフの横軸は、年度を表します。(例: R2は、令和2年4月1日から令和3年3月31日)
 ※2 令和2、3年度は東京オリンピック・パラリンピック開催の影響を受けているデータもあります。
 ※3 青が主灰の徐冷スラグ化量、赤が飛灰の徐冷スラグ化量。

※4 緑が非エネルギー起源CO₂(左軸)、赤がエネルギー起源CO₂(右軸)。

中央区等への電気と熱の供給

東京オリンピック・パラリンピック後の晴海地区の新たなまちづくりに合わせて、温浴プラザ「ほっとプラザはるみ」がリニューアルされ、地域のあらゆる世代が集える、にぎわいと交流、地域コミュニティの拠点として晴海地域交流センター「はるみらい」がオープンしました。3階の温暖浴スペースは、併設する中央清掃工場からの熱エネルギーを利用した床暖房を備えた誰もがくつろぐことができる休憩スペースとなっています。



■「エコまつり」への参加

中央区が主催する「エコまつり」に参加し、区民の皆様には工場を紹介しています。令和7年度は、工場見学の映像やパネルを通じて大勢の方々に工場への知識や関心を深めていただきました。



■排ガス状況表示盤

工場正面の植栽帯に、煙突から出る排ガスの状況表示盤を設置しています。硫黄酸化物・窒素酸化物・塩化水素の計測データと自己規制値を表示しています。



■運営協議会の開催

地域住民の代表、中央区及び清掃一組で構成される「中央清掃工場運営協議会」を開催し、工場の操業状況や各種環境調査結果などを報告しています。



■ステップガーデンの開放

工場敷地内のステップガーデンを、「憩いの場」として開放しています。(工場北側道路の盛土整備工事に伴い、ステップガーデンの一部を閉鎖しています。詳細については清掃一組HPをご覧ください。)



■環境情報展示コーナー

見学者説明室横に、環境に関する情報や資料等を展示しています。



■工場だより

操業状況等を掲載した広報誌を年2回発行し、町会や自治会、区役所等に配布しています。清掃一組のホームページからもご覧いただけます。



■親子見学会の開催

毎年8月頃に親子見学会を開催しています。ごみバンクやごみクレーンを間近で見ることが出来ます。お子さんの自由研究課題にいかがでしょうか。



■自衛消防活動

自衛消防隊を組織して消火訓練を行い、火災時の初期消火に当たる人材を育成しています。令和7年度の自衛消防審査会は中央清掃工場内で開催されました。



■ホームページの情報提供

清掃一組のホームページで、環境調査結果や資料等を公表しています。



■工場見学

中央清掃工場では、工場の操業状況や仕組みを紹介するために工場見学会を開催しています。

- ・9名以下の場合：「個人見学会」へのお申込みとなります。電話でご予約ください。
個人見学会の日程は、ホームページをご覧ください。工場へお問い合わせください。
(原則として、毎月第2土曜日の13:30～15:00)
- ・10名以上の場合：「団体見学」にて 随時お申込みを受け付けています。電話でご予約ください。
(原則として、平日の9:30～15:00のうち1時間30分程度)

見学会の詳細は、清掃一組ホームページでご案内しています。

下記の URL または右の二次元コードから清掃一組ホームページにアクセスしてご確認ください。

<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kengaku/>

見学受付電話番号：03-3533-5095 見学受付日時：平日及び土曜日の8:30～17:00



令和6年度 環境活動結果

■ 環境目的・目標実施プログラム

評価の基準 ☆☆☆☆:目標達成 ☆☆☆:目標は達成したが、改善の余地あり ☆☆☆:目標未達成 ☆:目標未達成かつ環境影響を与えた

環境方針	環境目標	実施事項	評価
開かれた清掃工場	クリーンデーの実施	工場周辺の清掃作業を月1回実施する	☆☆☆☆
	啓発活動の実施	親子見学会を実施する	☆☆☆☆
エネルギーの有効利用	蒸気の有効利用	ドレントラップの定期点検及び不良トラップの交換を行う	☆☆☆☆
公害防止	大気汚染物質の発生抑制	中央清掃工場規制値の維持水準を遵守する	☆☆☆☆

最近のトピック

■ 環境方針に基づき、このような取組を実施しました

☆環境方針:人材の育成

定期点検補修期間に電気保安研修を実施しました。電気を安全に取り扱うため、電気の危険性や安全対策、測定機器の使用方法などを学びました。



電気保安研修の様子

☆環境方針:開かれた清掃工場

令和7年9月、区内在住・在勤の方を対象とした清掃リサイクル講演会に当工場の職員が講師として登壇しました。清掃工場の紹介や不適物搬入防止に向けた取組などについて説明しました。



講演会で説明をしている職員

見学者に対する情報提供を充実

◇SDGs啓発の展示



◇事務室前掲示板



◇ごみバンク見学用踏台



主な設備概要

設備の概要

焼却炉	単胴水管式自然循環廃熱ボイラ 最大蒸発量 53.9 t/h×2基
ボイラ設備	全連続燃焼式火格子焼却炉(デ・ロール式) 処理能力 600 t(300 t/日×2基)
発電設備	衝動横置1段減速装置付抽気復水タービン 1基 定格出力 15,000 kW
排ガス処理設備	ろ過式集じん器 洗煙設備 触媒反応塔
煙突	地上高 約180 m
汚水処理設備	凝集沈殿砂ろ過方式 処理量 340.53 m ³ /日
ごみバンカ	容量 約10,000 m ³ ごみバンカゲート 9門 ごみクレーン定格荷重 5.75 t×2基
灰バンカ	容量 約350 m ³ 灰クレーン定格荷重 5.25 t×1基

プラットホーム (全9門・1日延べ300~600台)	ごみクレーンとごみバンカ (クレーン1回のつかみ量 約3 t)
	
1日300 t~800 tのごみを搬入	コンピュータで自動制御運転
中央制御室 (焼却炉の燃焼状態等監視)	焼却炉内の様子
	
常時監視	焼却炉下部点検窓より

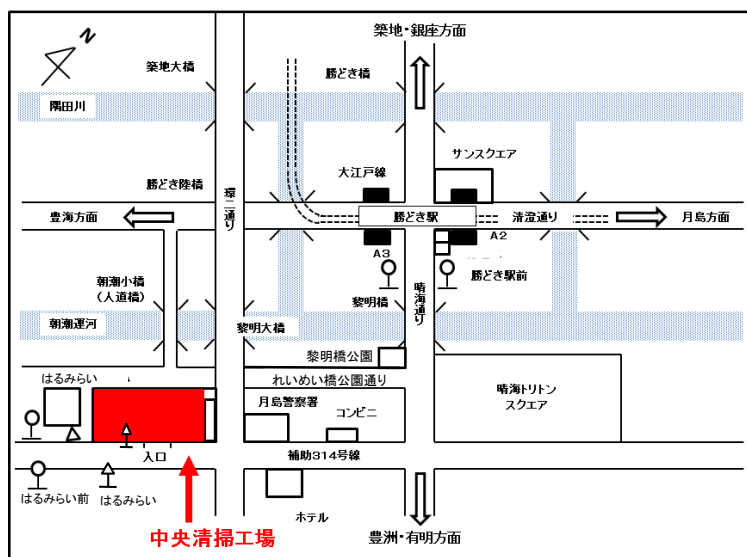
編集後記

この環境報告書は、中央清掃工場における操業データや環境に対する取組をお知らせするものです。
中央清掃工場は、今後とも地域の皆様に信頼される開かれた工場を目指して努力していきます。

案内図

交通機関

- JR「東京駅」丸の内南口より都バス「晴海埠頭」行き
「はるみらい前」下車徒歩2分
- 東京メトロ「豊洲駅」より都バス「晴海埠頭」行き
「はるみらい前」下車徒歩2分
- JR「錦糸町駅」南口より都バス「晴海埠頭」行き
「はるみらい前」下車徒歩2分
- JR「四ツ谷駅」四ツ谷口より都バス「晴海埠頭」行き
「はるみらい前」下車徒歩2分
- 東京BRT「新橋」より「HARUMI FLAG」行き
「はるみらい」下車徒歩1分
- 都営大江戸線「勝どき駅」より徒歩15分



— 本報告書に関するご意見・ご要望は、下記、連絡先までお寄せください。 —

名称 : 東京二十三区清掃一部事務組合 中央清掃工場
所在地 : 〒104-0053 東京都中央区晴海五丁目2番1号
電話 : 03-3532-5341 (見学受付 03-3533-5095)
FAX : 03-5547-2263
HP : <https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/kojo/chuo/index.html>

発行 : 令和7年12月
作成者 : 技術係長
発行責任者 : 中央清掃工場長

↓二次元コードから
清掃一組HPに
アクセスできます。



印刷物登録

令和7年度 第100号